

沿 革

明治40年10月11日	金沢市議会議員上森捨次郎が、盲啞学校設立を申請する。
11月18日	盲啞学校設置の認可を受ける。
明治41年 1月11日	上森捨次郎が私立金沢盲啞学校を、金沢市西町公会堂の一部を借用して開設し、初代校長となる。盲生11名、啞生9名が在籍する。
明治45年 3月	第1回卒業式を挙げる。
大正 2年 4月 1日	石川県教育会附属私立金沢盲啞学校となり、校舎は金沢市殿町65番地旧金沢病院舎へ移転する。
	第2代校長 次田七五三五郎 発令着任
大正 6年 6月20日	第3代校長 横山隆俊 発令着任
大正11年 4月 1日	学校が県に移管されて、石川県立盲啞学校となり、校舎は金沢市長町五番丁39・40番地合併の旧長町小学校に移転する。
	第4代校長 前田捨次郎 発令着任
大正13年 4月 1日	盲教育令、聾教育令の実施によって、石川県立盲学校、石川県立聾啞学校を設立して校名分離をし、校舎は再び旧金沢病院舎に移転する。
大正14年 5月15日	第5代校長 平岩繁浩 発令着任
大正15年11月24日	新校舎が金沢市上弓ノ町34番地（現在地）に竣工し、同月26日に移転する（落成式は翌昭和2年10月10日に挙げる）。
昭和 2年 1月27日	第6代校長 笠井貞康 発令着任
昭和 2年 9月 2日	旧校歌を制定する。（四高教授鴻巣盛廣作詞、東京盲教員山崎善次郎作曲）
昭和 6年12月11日	天徳院境内に本校物故者の碑を竣工し、同月12日除幕式を挙げる。
昭和 8年 3月31日	第7代校長 竹屋 藏 発令着任
昭和11年 3月31日	第8代校長 瓜生了観 発令着任
昭和12年 6月10日	ヘレン・ケラー女史が来校する。
昭和13年	創立30周年記念式典を挙げる。
昭和17年 3月31日	第9代校長 高橋茂男 発令着任
昭和20年10月25日	第10代校長 春藤俊平 発令着任
昭和22年 7月	本校主管で、全国盲聾教育大会を鶴来町にて開催する。
昭和23年 4月 1日	義務教育制度が実施され、学校教育法により小学部6ヶ年、中学部3ヶ年、高等部本科3ヶ年の課程を設置する。
〃	盲聾合同のPTAを結成する。
昭和23年 5月11日	創立40周年記念式典を挙げる。
昭和25年 4月 1日	高等部専攻科2ヶ年の課程を設置する。
昭和26年 3月31日	マッサージ師・はり師・きゅう師養成校としての認定を受ける。
昭和27年 4月 1日	高等部別科2ヶ年の課程を設置する。
	第11代校長 寺西七郎 発令着任
5月18日	第1回杉山祭を実施する。
7月	盲聾児収容施設「上野学園」（木造平屋建て）が金沢市小立野4丁目7の51に落成。前校長春藤俊平が初代園長となり、盲生21名、聾生30名が入園し通学する。
昭和29年9月15～21日	第1回敬老治療実習を実施する。
昭和32年 4月 1日	第12代校長 明石与作 発令着任
昭和33年 4月24日	創立50周年記念式典を挙げる。

昭和35年 4月 1日	第13代校長 伊藤弘三 発令着任
昭和38年 4月 1日	第14代校長 小嶋周栄が初代専任校長となる。
昭和40年 3月31日	「上野学園」が閉園される。
7月 8日	ろう学校が金沢市窪町に校舎を新築移転し、盲学校が独立校となる。
昭和41年 4月 1日	第2代校長 加藤清次 発令着任(第15代)
昭和42年 5月24日	校舎改築起工式を挙げる。
12月18日	鉄筋2階建て寄宿舎が竣工し、移転する。
昭和43年 4月 1日	第3代校長 高堀勝喜 発令着任(第16代)
昭和43年 7月15日	鉄筋3階建て校舎が竣工し、移転する。
11月16日	創立60周年記念式典、新校舎落成式、上森捨次郎胸像除幕式を挙げる。
昭和44年 4月 1日	小学部に弱視学級を設置する。
昭和45年 4月 1日	中学部に弱視学級、重複学級を設置する。
昭和46年 4月 1日	第4代校長 駕原利蔵 発令着任(第17代)
	小学部に重複学級を設置する。
	養護・訓練（自立活動の前身）の授業を開始する。
昭和48年 4月 1日	高等部に普通科3ヶ年の課程を設置する。
昭和49年 4月 1日	第5代校長 中井半之丞 発令着任(第18代)
昭和50年 4月 1日	高等部に専攻科理療科3ヶ年の課程を設置する。
	小学部に盲・聾児学級を設置する。
昭和52年 4月 1日	第6代校長 木南俊英 発令着任(第19代)
	高等部に重複学級を設置する。
8月3～5日	本校主管で第52回全日本盲学校教育研究大会を金沢にて開催する。
昭和53年10月15日	創立70周年記念式典を挙げる。
昭和54年 4月 1日	第7代校長 寺尾 正 発令着任(第20代)
昭和56年 4月 1日	中学部に盲・聾学級を設置する。
昭和57年 4月 1日	文部省重複障害教育実験学校指定校となる。
昭和58年 4月 1日	第8代校長 西谷 朗 発令着任(第21代)
昭和59年 3月19日	施術所「石川県立盲学校理療臨床室」を開設する。
3月31日	プールを竣工する。
11月 9日	本校で文部省指定重複障害教育実験学校研究発表会を開催する。
昭和60年 4月 1日	第9代校長 花山勝道 発令着任(第22代)
昭和61年10月30日	検査室を設置し、赤外線皮膚温測定装置「サーモグラフィ」を導入する。
昭和62年 1月30日	本校主管で全国弱視教育研究会を金沢にて開催する。
9月28日	点字プリンターシステムを導入し、本校に初めてコンピュータが入る。
昭和63年 3月31日	校内誘導ブロックを敷設する。
昭和63年 4月 1日	第10代校長 村島 博 発令着任(第23代)
10月25日	新校歌を制定。（前校長花山勝道作詞、中田喜直作曲）
	新校歌額を掲示し、旧校歌石碑を中庭に建立する。
10月30日	創立80周年記念式典を挙げる。
平成 2年 4月 1日	高等部別科を廃止し、本科保健理療科3ヶ年の課程を設置する。
	あ・は・き法改正に伴う新養成施設の認定を受ける。
平成 3年 3月 8日	初めて点字書込みの卒業・修了証書を授与する。
4月 1日	第11代校長 栄井 彰 発令着任(第24代)
	全国で最初の文部省職業教育実験学校指定校となる。
平成5年2月27・28日	第1回マッサージ師・はり師・きゅう師の国家試験が実施される。

4月 1日	高等部に専攻科保健医療科3ヶ年の課程を設置する。
11月25・26日	文部省職業教育実験学校研究発表会を開催する。
平成 7年 3月15日	プレハブ教室跡に特別教室棟を増築する。
4月 1日	第12代校長 山口 哲 発令着任(第25代)
平成 9年 4月 1日	第13代校長 瀬城美枝子 発令着任(第26代)
平成10年11月 1日	創立90周年記念式典を挙げる。
平成11年 4月 1日	第14代校長 金森清明 発令着任(第27代)
平成12年 3月24日	同窓生田村十三の寄付により時計塔を校門横に建てる。
4月 1日	第15代校長 瀬町隆一 発令着任(第28代)
7月～12月	臨床棟、耐震工事行われる。
平成13年 7～12月	管理棟、耐震工事行われる。
平成14年 2月 1日	校内LANを導入する。
4月 1日	第16代校長 宮本長範 発令着任(第29代)
平成15年7月31日～8月1日	本校主管で第78回全日本盲学校教育研究大会石川大会を金沢にて開催する。
平成16年 2月16日	「触れてみる博物館」を開館する。
4月 1日	第17代校長 山寄保弘 発令着任(第30代)
平成17年 4月	2学期制となる。
	七尾養護学校珠洲分校に「サテライト教室」を開設する。
8月	「ぴっかスクール」(幼児教育相談室)を発足する。
平成18年 4月 1日	第18代校長 尾小山輝子 発令着任(第31代)
平成20年 3月 3日	「触れてみる美術コーナー」が生徒玄関に完成する。
2月16日	「学校創立の地」記念碑を建立する。
4月 1日	第19代校長 高 宏 発令着任(第32代)
10月26日	創立100周年記念式典を挙げる。
平成21年 4月 1日	金沢市防災無線受信機を寄宿舎に設置する。
11月 6日	いしかわ学校版環境ISOの認定校になる。
平成22年 4月 1日	第20代校長 松原 清 発令着任(第33代)
	県立七尾特別支援学校輪島分校に「サテライト教室」を開設する。
平成25年 4月 1日	第21代校長 西田信一 発令着任(第34代)
4月	文部科学省の「特別支援学校機能強化モデル事業」指定校となる。
平成25年8月21～23日	本校主管で第28回全国盲学校野球大会を金沢にて開催する。
平成28年 4月 1日	第22代校長 山田康雅 発令着任(第35代)
平成29年 4月 1日	第23代校長 鋪村暢代 発令着任(第36代)
平成29年 4月	3学期制となる。
平成30年 4月	文部科学省の「特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業」指定校となる。
平成30年10月14日	創立110周年記念式典を挙げる。
平成31年 4月 1日	第24代校長 江川周一 発令着任(第37代)
令和元年5月18・19日	第46回北信越グランドソフトボール大会を金沢にて開催する。
令和元年 6月14日	全教室・特別教室等(28室)エアコン設置完了
令和 3年 4月 1日	第25代校長 瀬川真司 発令着任(第38代)
令和4年6月23・24日	第7回北信越フロアバレーボール大会を金沢にて開催する。
令和4年7月～12月	臨床棟、耐震工事行われる。
令和 5年 4月 1日	第26代校長 東智津子 発令着任(第39代)
令和 6年 7～ 9月	管理棟、耐震工事行われる。
令和 7年 4月 2日	第27代校長 座主真奈美 発令着任(第40代)